

新聞普及巡回を実施

一層の普及推進を依頼

農業会議は8月6・7日、全国農業会議所農地・組織対策部の今井次長と共に、全国農業新聞普及巡回を実施した。

8月6日は、八尾市農業委員会(齊藤暁会長)を訪問。定例会後、今井次長より情報提供活動の意義と新聞の活用事例等について説明し、一層の普及推進について呼び掛けた。

農業会議からは府内の普及状況を説明。今年度より取り組む「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」推進計画において情報提供活動の強化と新



今後の普及対策を話す齊藤会長

聞・図書の積極的な活用に取り組みることとしており、普及への協力を依頼した。

齊藤会長は、委員に対し、「情報提供活動の一環として、可能な範囲で新聞普及に協力願いたい」と呼びかけた。

その後、齊藤会長、稲葉事務局長と共に今後の普及対策について協議。齊藤会長は「来年の改選を控え、値上げも予定される中、普及部数の新規確保は非常に難しいが、出来る限り協力していきたい」と語った。

8月7日には、大阪狭山市農



新聞の周知について協議する上田会長(中央)と堀事務局長(左)

業委員会(上田幸男会長)を訪問。定例会後に委員への普及依頼を実施した。その後、上田会長、堀事務局長と共に普及対策について協議。上田会長は「米の情報が色々錯綜する中、情報収集する意味でも普及は良い機会。全国農業新聞の周知も含め

サポートシステム操作研修

農委担当者が端末を操作

農業会議は8月4日、大阪

市・大阪産業創造館で、農業委員会サポートシステム操作研修会を開催。会場での出席とあわせてリモート出席も可能とし、農業委員会事務局職員など計44人が出席した。

冒頭に、藤岡参事兼農政課長が「地域計画の変更に伴う手続きや目標地図の作成・変更、遊休農地の情報や所有者の国籍に係る情報の管理が必要となり、台帳に多くの情報を搭載し、システムを十分に活用することがますます重要となっている」と

尽力していきたい」と話した。今回の2市での巡回を受けて早速委員1人から購読申込の申出があった。

全国農業新聞の普及については、5月28日に開催された全国農業委員会会長大会において「情報提供活動」の一層の強化

あいさつ。

続いて、全国農業会議所の島内考査役から、同システムの概要を説明した後、参加者の手元にデモ環境にアクセスできる端末を用意し、台帳・地図補正による台帳情報の更新や、一括更新機能による農地利用状況調査の結果入力作業などを行った。

その後、人事異動などにより、令和6年度以前まで目標地図素案の作成を行っていた担当者が不在の中で、目標地図の変更手続きを行う必要のある市町村農業委員会なども見受けられるこ



農地の情報に基づく色分けイメージ

に関する申し合わせが決議されており、委員の皆購読と委員数の5倍以上の購読数確保が内容となっている。府内購読部数は1293部(7月時点※電子版含む)で減少傾向にあり、一層の普及推進の強化が求められる。(中島)

とから、農家の今後の経営意向や農地に関する意向をシステムに搭載し反映する作業や、目標地図エリアを設定し、台帳情報をもとに色分けする作業も実践。その後、変更が生じた場合の操作等についても実践した。(沼田)

お知らせ・参加者募集

農年加入推進特別研修会

農業会議、J A大阪中央会、独立行政法人農業者年金基金は9月30日(火)13時30分より、

大阪市・J A大阪センタービルで農業者年金加入推進特別研修会を開催する。

研修会当日は基金の國和治彦専門役が「農業者年金を上手く活用しよう」を演題に社会保険

料控除のメリットなどを解説。

また株式会社ジーステラエンタープライズの堀口浩代表取締役が「『農業者年金』加入のススメ」何を話す?どう伝える?」を演題に講演する。